

事業者向け 放課後等ディサービス評価表

令和6年3月

事業所 かけはし

従業者数：7人 回収：7人 回答率：100%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	0	・指定基準は満たしているが、実務で考えると十分な広さとは言えない。 ・外での活動を中心に組み立てているので、特に問題はない。 ・カーテン等の仕切りで空間を工夫している。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員配置数は適切であるか。	7	7	0	・基準を満たした配置がされている。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	2	5	・バリアフリー化はされていない。 ・新築建物ではなく既存建物を利用しているので、構造自体のリフォームはハードルが高い。 ・カーテンや仕切り等の工夫で環境設定を工夫している。 ・生活空間は分かりやすくなっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	0	・明るく、キレイな空間を保つため、毎日の清掃と季節行事に合わせた空間の飾り付けを行なっている。 ・季節行事の装飾は子供たちの季節感覚にも役立っている。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	0	・パニックや精神的不安定になった時など、個室でクールダウンが出来るようになっている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	2	・定期的にPDCAサイクルを確認している。 ・児童一人一人に向けたPDCAサイクルを、職員間で周知をしっかり図り、一体となって理解をしていった方が良い。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	・毎年アンケート結果は集計し、職員に回覧している。 ・改善が図れるところ、目標としていくところ等は隨時話し合い、検討している。事業所の強みと弱点も理解しながら業務改善を図っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	0	・職員会議では、意見しやすい雰囲気で行われている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	0	7	・第三者の外部評価は行なっていない。今後、どのように外部評価を入れたら良いのか、引き続き検討していく。 ・第三者委員は設置してある。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	0	・虐待防止等、義務研修は取り組んでいる。 ・市や連絡会等が主催している研修会や勉強会には参加させてもらっている。 ・参加者は偏ってはいるが、フィードバックをしている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	1	6	・プログラムは作成中。 ・以前から運動プログラムは作成済で取り組んでいる。

12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	○	○	・保護者や関係機関（相談支援員）と情報共有し、保護者のニーズや期待、課題の整理を一人一人行ない、共有されている。
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達管理責任者だけではなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	○	○	・個別支援計画作成会議を開き、最近の状況を整理し、検討している。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	○	○	・個別支援計画は全職員を通し、計画に沿った支援を心掛けて行なっている。
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	7	○	・職員の感性や捉え方に頼ってしまい、標準化されたツールとして活用している物は無い。 ・今後検討していく。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移動支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	○	○	・「本人支援」「家族支援」「移動支援」「地域支援・地域連携」の内容を話し合い、作成している。
適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	○	・日々の活動プログラムの決定は、毎日の全体会議時に話し合っている。 ・ある程度決まった方向性で進んでいるが、色々意見が出しやすいような雰囲気は作れ、発言もある。
	18 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか。	7	○	○	・年間行事と同じく、季節や時期に応じた取り組みを実施している。 ・固定化することも悪くはない。上達や成長を確認しやすい。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	○	○	・年齢や各個人のステージで活動内容や目標設定も変わってくることを理解し、共有している。 ・一人一人に合った活動を心掛けているが、最終的には集団活動に慣れる事を意識して計画、実行している。
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	7	○	○	・毎日全体ミーティングで前日の様子と本日の行動予定、送迎スケジュール、最近気になる児童の様子等の共有等、打ち合わせと確認を行なっている。 ・外活動が多いので、移動や活動中の行動範囲に注意を払っている。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた真の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	○	・終了後は必要に応じて振り返りと情報共有を行なっている。基本的には翌日の全体ミーティングで報告、共有している。その日に周知すべき重要事項はLINEを活用し、情報共有している。 ・送迎時間、退勤時間による。

22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	0	・毎日サービス提供記録を付けている。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	7	0	0	・半年に1回モニタリングを開催。内容は周知されている。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行なっているか。	7	0	0	・「自立支援と日常生活の充実のための活動」、「創作活動」、「地域交流の機会の提供」、「余暇の提供」を組み合わせ支援することを心掛けている。
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行なっているか。	7	0	0	・活動の選択をしている。全てを選択させるのではなく、活動や支援時間等に支障が出ない範囲で選択をさせることで、自己決定の力を育んでいる。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	0	・基本的には情報は共有しているので、誰が一番精通している等はない。誰でも参加できるよう、情報は共有している。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	0	・各機関とは連携を図っていけるよう意識はしているが、特別に何かをしているわけではない。日頃の繋がりを大事にし、コミュニケーションを図っている。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行なっているか。	7	0	0	・学校との連携もこまめに取り合っている。学校都合による下校時刻の変更等も、随時学校から連絡を入れてもらっている。送迎トラブルで遅れる際はこちらから学校へ連絡を入れる等、適切に対応して、関係性は良好。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	0	7	・就学前の関係機関とは連携は取っていない。 ・保護者からの要望により、必要があれば事前情報共有を図る機会を設ける。今のところ保育所や幼稚園との連携事例はない。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	0	・必要に応じて相談支援事業所を通じて情報共有の会議に参加している。 ・就労先へ向けての自発的な会議の開催は行っていない。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	0	7	・専門機関と連携して研修は受けていない。 ・市や連絡会、自立支援協議会が開催する勉強会や研修には参加している。 ・医療機関の相談員や担当者からのアドバイスは聞いている。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	3	4	・他事業所の放課後デイとの交流はあるが、児童クラブや児童館との交流はない。 ・広く交流を図っていくことに特に保護者は求めていない。子供たちも一般学童の子と遊ぶことを求めてはいない様子。今いるお友達との関係性を重視している。 ・感染症予防の観点から、今は積極的な不特定多数の関わりに抵抗がある。

33	(自立支援) 协議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	○	<ul style="list-style-type: none"> ・全員ではないが参加している。 ・参加者からのフィードバックを受けている。
34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時には毎日活動の様子や気になること等は報告と相談をさせてもらっている。その他、日頃の様子で気になることは随時連絡を取れる体制は取れていて、対応している。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行なっているか。	○	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングは行っていない。 ・必要に応じて個別面談で相談に乗っている。 ・ペアレントトレーニング実践ガイドブックを活用し、職員勉強会を行なっている。
36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか。	7	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に契約書面と一緒に確認しながら説明を行っている。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度保護者に聞き取りをし、保護者の意向と子どもの意向を確認している。
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・作成前の聞き取りと作成後の確認及び説明を行なっている。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	7	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談は随時受け付けている。保護者のタイミングで、必要に応じて相談支援を行っている。
保護者への説明責任等	父母の会の活動を支援する事や、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	○	7	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会等は、保護者の意向で望んでいないご家庭が多くあるので立てていない。 ・行事で保護者参加のイベントを定期的に開催して、希望する保護者はそこでコミュニケーションを図っている。
	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受付と苦情解決責任者を立てていて、対応している。契約時に書類確認と一緒に説明している。
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用し、活動の様子と状況を配信している。行事予定等は1ヶ月の利用予定表を配布する際に同時にお知らせをしている。
43	個人情報の取り扱いに十分留意している。	7	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いは厳重に行っている。 ・職員に対し、個人情報の取り扱い、秘密情報の保持に関する誓約書を交わしている。

44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	○	○	・意思の疎通に関して、普段ご家庭で取っているコミュニケーション方法を参考に、必要があれば療育ツールを活用してコミュニケーションを図っている。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	7	・地域住民を招致する行事を開催したことはない。どのような形で行うのが良いのか調べ、検討していく必要がある。 ・依然コロナや感染症の関係で不要に不特定多数の関りを持つのは不安が残る。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	○	○	・各種マニュアルは作成し、ファイルに保管している。職員はいつでも閲覧可能で、職員会議時には読み合わせ等を行い、定期的に変更や理解を深めている。
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	7	○	○	・年2回の消防訓練の総合訓練（通報訓練、避難訓練、初期消火訓練）を行っている。
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	○	○	契約前にお子様情報として、アレルギーや継続して飲んでいる薬、既往歴等を確認し、記入してもらっている。
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	7	・契約時にアレルギー調査を行っているが、食事提供はしていないので、医師の指示書の提出は求めていない。おやつの内容成分で気を付けるべき事を確認している。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	○	○	各マニュアルを作成し、点検を実施している。
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。	7	○	○	・緊急時対応マニュアルを作成し、契約時に重要事項説明書の説明と同時に説明と連絡先を確認している。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7	○	○	・ヒヤリハット事例集を作成し、内容は職員間で確認している。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	7	○	○	・年1回以上の虐待防止研修と勉強会を実施している。 ・委員会は定期的に開催している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明をした承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	○	○	・運営規定にも記載し、保護者にも説明している。